

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」新河岸校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2		パーティション等で半個室になるよう区切っている。大きく動く際は広い場所へ移動	
	②	職員の配置数は適切である		2	受け入れ人数に対して、基準には達している	急な体調不良等に対応することが難しい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2		建物の前に段差があり、バリアフリー化が難しい。必要に応じて、手伝うことで対応をしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2		「さわらない」「入らない」など絵カードやテープなどでわかりやすく示している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2		職員間で情報を共有し、振り返りを行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2		年に一度保護者の方へ事業所評価のお願いをしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		年に一度、事業所評価アンケートを実施し、その結果をもとに業務改善を行っている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	現在、外部評価は行っていない	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		2	内部研修は定期的に行っている	外部研修等を受ける機会も作ってきたい
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2		職員間での話し合い、保護者とのモニタリングを経て作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2		会社規定のアセスメントシートを使用している	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2		適切な対応を心掛けている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2		計画についても常に確認ができるような体制を整え、計画に沿って支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		立案については各職員で行っているが、振り返りや共有はチームで行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		担当を一人に決めず、様々な職員が関わることで、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2		計画については全体的な部分での作成をしている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2		直接の連絡の他、クラウドサービスを使いながら連携をとっている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		直接の連絡の他、クラウドサービスを使いながら連携をとっている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2		子どもの様子や行った支援内容を具体的に書き残し、共有している	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2		6か月に1度、モニタリング及び計画の見直しを行っている	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		教室内の状況によって、必ずしもとは限らないが、できるかぎりふさわしい者が参加できるよう努めている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		2	直接の連携は行っていない	可能であれば、今後連携をしていきたい
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	

連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2	保育園等の情報については、保護者の方からの情報が主となっている。	保護者の方との相談の上、連絡をする場合もある。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2	現在は行っていない	保護者の方からの要望があった際に行っている
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	現在、直接的な関わりはない	機会があれば研修等受けていきたい
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	個別での対応をおこなっているため、定型発達児との交流の設定はしていない。	
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		2	現在、直接的な関わりはない	今後、機会があれば参加していきたい
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2		FB や支援中の時間に、保護者から話を聞く機会を作っている	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		2	今年の実施はなし	
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		2	契約時や変更があった際には丁寧に行っている	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		2	相談に対して、どのような助言や支援ができるか話し合い、助言や支援を行っている。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		2		定期的には行えていないが、話を伺う時間を作るようにしていきたい
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2		今後、機会を作っていきたい
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2			相談に対しては、どのような助言や支援ができるかを話し合い、助言や支援を行っている。

非常時等の対応	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2		定期的には行っていない。ブログでの発信は行っている。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	2	個人情報の分かる書類は鍵付き書庫に保管	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	可能な限り個々に応じた対応を行っている	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	現在実施していない	可能であれば、外部向けイベントも今後取り組んでいきたい
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	各マニュアルを策定し、職員には周知を徹底している。保護者には契約時に伝えている	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	定期的に避難訓練を行っている	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	契約時に、持病については確認している	
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	該当なし		
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	共有を行い再発防止の話し合いをしている		
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	年に1回必ず虐待防止研修を行っている		
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	記載している 身体拘束を行う場合には教室内で話し合いを行い、保護者へ同意書のサインをいただき、行政へ連絡したうえで実施することになっている		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸 校

保護者等数（児童数）：4 回収数：3 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1			支援員によって差がある	統一できるよう、教室内で話し合いを持たせて頂きます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1	2			幼児に対する専門性がない支援員がいた	支援の質を均一にできるよう研修等を整備してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				ホワイトボードを移動してより広々と空間が使えたら良い。 玩具がただ置かれているので、種類別に置く、区切りを明確にするなど構造化されていると良い	ご意見を参考に、教室内でも話し合いを持たせて頂きます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	2			
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2			1		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか			1	2		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2		1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			3			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか		3				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		1		2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2			1		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか				3	マニュアルの周知はされた。訓練については知らない。	訓練の周知について、より分かりやすくご案内できるよう改善してまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				3	マニュアルの周知はされた。訓練については知らない。	訓練の周知について、より分かりやすくご案内できるよう改善してまいります。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3				様々な遊びを知る機会 「かして」ちようだい などコミュニケーション方法を学んでいる	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。